

## 資料 3

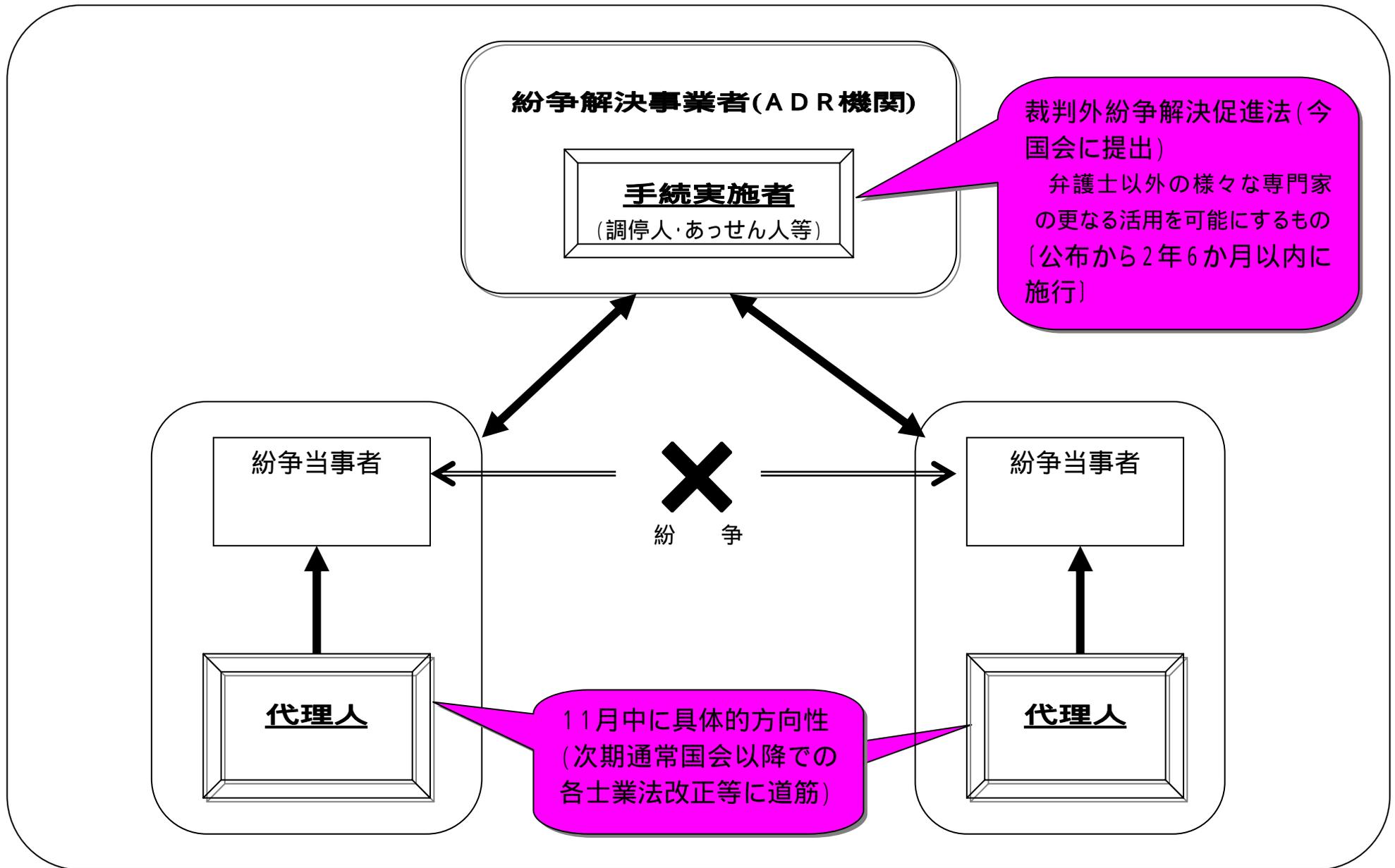
### 隣接法律専門職種に対する裁判外紛争解決手続の代理権の付与

(注) 隣接法律専門職種

行政書士、司法書士、土地家屋調査士、税理士

社会保険労務士、弁理士、不動産鑑定士

# 裁判外紛争解決手続(ADR)における隣接法律専門職種等の活用形態



## 隣接法律専門職種等に対するADR代理権の付与に関する検討の視点等

### 検討の視点

#### <社会的ニーズ>

弁護士以外の者が提供する法的サービスに対する社会的ニーズの存在

弁護士だけでは不十分な**特定の分野の専門的知見**に基づいた助言

コスト面等で弁護士の委任が事実上困難な**少額・簡易事案**での助言

+

#### <法律的・専門的能力>

法的サービスを公正・適確に遂行するに足る能力の具備

一定の**紛争分野**に関する**専門的知識・経験**

代理業務を行うために必要な**法律的能力**や代理人としての**倫理規律**



ADRの拡充・活性化  
事案の性格・当事者の事情に  
合った代理人の選択を可能に

### 検討項目

<固有の業務の内容や紛争解決への関与実績等を踏まえ、職種ごとに、  
付与の対象となる範囲・条件に関し、以下の項目等について検討>

対象となる  
紛争の種類

対象となる  
紛争の規模

対象となる  
ADR機関

弁護士の関与  
(共同受任等)

能力担保措置  
(研修・試験等)

## 隣接法律専門職種に対する裁判外紛争解決手続（ADR）代理権の付与

### < 訴訟代理権が付与されている職種 >

#### 【司法書士】

（注）：要望を踏まえて所要の措置

現行の主な業務内容（との関連業務）	主な要望事項	検討状況（方向性）
<p><b>(紛争性のある業務)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 140万円以下の民事紛争につき、簡裁での訴訟代理、裁判外における和解（<u>ADR機関における調停を含む。</u>）の代理 [認定司法書士のみ]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 140万円以下の民事紛争につき、<u>ADR機関における仲裁の代理</u> [認定司法書士のみ]</li> </ul> <p>（注）140万円超の民事紛争についてのADR代理も今後の課題として視野</p>	

#### 【弁理士】

（注）：要望を踏まえて所要の措置

現行の主な業務内容（との関連業務）	主な要望事項	検討状況（方向性）
<p><b>(紛争性のある業務)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>経産大臣指定のADR機関における特許、特定不正競争等に関する仲裁（仲裁に伴う和解を含む。）</u>の代理</li> <li>・ 特定侵害訴訟の代理（弁護士との共同受任事件に限る。）[付記弁理士のみ] 等</li> </ul> <p><b>(紛争性のない業務)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特許、<u>著作物等に関する権利の売買契約、ライセンス契約</u>の代理 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ADR代理の対象に<u>著作権に関する紛争</u>の追加</li> <li>・ 対象となる<u>ADR機関の拡大</u></li> <li>・ ADRでの<u>調停代理権の明確化</u></li> <li>・ ADR代理の対象を<u>不正競争全般に拡大</u></li> </ul>	

< 訴訟代理権が付与されていない職種 >

【社会保険労務士】

(注) : 要望を踏まえて所要の措置、[能] : 能力担保措置を条件、[共]弁護士との共同受任事件に限定

現行の主な業務内容 (との関連業務)	主な要望事項	検討状況 (方向性)
<p><b>(紛争性のある業務)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>個別労働関係紛争解決促進法</u>に基づき都道府県労働局が行うあっせんの代理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>個別労働関係紛争</u>について地労委が行うあっせんの代理</li> <li>・ <u>男女雇用機会均等法</u>に基づき都道府県労働局が行う調停の代理</li> <li>・ <u>民間ADR機関</u>が行う<u>個別労働関係紛争</u>のADR代理</li> </ul> <p>( ・ <u>開業社会保険労務士の労働争議不介入規定 (社労士法) の撤廃</u> )</p>	<p>[能] (能)については、併せて、の現行のあっせん代理も対象</p> <p>[能]</p> <p>[能][共]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厚労大臣指定のADR機関</li> <li>・ [共]につき、60万円以下の事件については単独受任可</li> </ul> <p>( ・ <u>労働争議不介入規定</u>についても、併せて、見直し )</p>

【土地家屋調査士】

(注) : 要望を踏まえて所要の措置、[能] : 能力担保措置を条件、[共]弁護士との共同受任事件に限定

現行の主な業務内容 (との関連業務)	主な要望事項	検討状況 (方向性)
<p><b>(紛争性のある業務)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不動産の表示の登記に関する審査請求手続の代理</li> <li>・ <u>民・民間の紛争に関する業務はなし</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>土地の境界が明らかでないことを原因とする紛争</u>のADR代理</li> </ul>	<p>[能][共]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法務大臣指定のADR機関</li> </ul>
<p><b>(紛争性のない業務)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不動産の表示の登記に関する調査測量</li> </ul>		

**【税理士】**

(注) : 要望を踏まえて所要の措置

現行の主な業務内容 (との関連業務)	主な要望事項	検討状況 (方向性)
<p><b>(紛争性のある業務)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 税務訴訟における補佐人としての出廷・陳述</li> <li>・ 税務代理 (不服申立てにおける主張・陳述の代理)</li> </ul> <p><u>民・民間の紛争に関する業務はなし</u></p> <p><b>(紛争性のない業務)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 税務書類の作成、税務相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 税務の専門家として <u>A D R 主宰者( 手続実施者 )</u> 等の相談者として関与</li> <li>・ <u>租税法令の適用に関する民・民間の紛争等</u> の A D R 代理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来課題 ( 主宰者等としての実績等を見極めて、再度検討 )</li> </ul>

**【不動産鑑定士】**

現行の主な業務内容 (との関連業務)	主な要望事項	検討状況 (方向性)
<p><b>(紛争性のある業務)</b></p> <p><u>紛争性のある業務はなし</u></p> <p><b>(紛争性のない業務)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不動産の鑑定評価</li> <li>・ 不動産取引等に関する相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>地代家賃、借地借家等に関する紛争</u> の A D R 代理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来課題 ( 主宰者等としての実績等を見極めて、再度検討 )</li> </ul>

**【行政書士】**

現行の主な業務内容 (との関連業務)	主な要望事項	検討状況 (方向性)
<p><b>(紛争性のある業務)</b></p> <p><u>紛争性のある業務はなし</u></p> <p><b>(紛争性のない業務)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 官公署に提出する書類の作成・提出</li> <li>・ <u>権利義務等に関する書類の作成</u></li> <li>・ <u>契約書類等の代理人としての作成</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>140 万円以下の幅広い紛争 ( 対象分野不特定 )</u> の A D R 代理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来課題 ( 主宰者等としての実績等を見極めて、再度検討 )</li> </ul>

隣接法律専門職種等の主な業務内容（現行制度）

	紛争性のある業務（法律事件に関する法律事務）		紛争性のない業務
	民・民間の紛争	行・民間の紛争	
司法書士	<ul style="list-style-type: none"> <li>140万円以下の民事紛争につき、簡裁における訴訟、調停、即決和解の代理、裁判外における和解の代理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登記、供託に関する審査請求手続の代理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登記、供託手続の代理</li> <li>裁判所等への提出書類の作成</li> </ul>
うち認定司法書士			
弁理士	<ul style="list-style-type: none"> <li>工業所有権（特許等）特定不正競争に関する仲裁事件の手続（経産大臣が指定する団体が行う手続に限り、当該手続に伴う和解の手続を含む。）の代理</li> <li>工業所有権、特定不正競争に関する事項について、補佐人として出廷、陳述、尋問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>審決取消訴訟の代理</li> <li>工業所有権（特許等）に関する異議申立、裁定手続の代理</li> <li>輸入差止手続の代理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工業所有権（特許等）の出願手続の代理</li> <li>工業所有権、著作物に関する権利の売買契約、ライセンス契約等の締結の代理</li> </ul>
うち付記弁理士	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定侵害訴訟（工業所有権の侵害、特定不正競争による営業上の利益の侵害に係る訴訟）の代理（弁護士との共同受任事件に限る。）</li> </ul>		
社会保険労務士	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別労働関係紛争解決促進法に基づき都道府県労働局（紛争調整委員会）が行うあっせん手続の代理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働社会保険諸法令に基づく審査請求手続の代理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働社会保険諸法令に基づく申請書等の作成、提出</li> </ul>
土地家屋調査士		<ul style="list-style-type: none"> <li>不動産の表示の登記に関する審査請求手続の代理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不動産の表示の登記の申請</li> <li>不動産の表示の登記に関する調査測量</li> </ul>
税理士		<ul style="list-style-type: none"> <li>税務代理（不服申立てにおける主張・陳述の代理等）</li> <li>税務訴訟における補佐人としての出廷・陳述</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>税務代理（申告の代理等）</li> <li>税務書類の作成</li> </ul>
不動産鑑定士			<ul style="list-style-type: none"> <li>不動産の鑑定評価</li> <li>不動産取引等に関する相談</li> </ul>
行政書士			<ul style="list-style-type: none"> <li>官公署に提出する書類、権利義務等に関する書類の作成、提出</li> <li>契約書類等の代理人としての作成</li> </ul>